

川崎市議会議員(麻生区選出、無所属)

月本たくや

レポート【第 54 号】

月本たくやレポート編集部

〒215-0024 川崎市麻生区白鳥 2-3-2 K コーポ白鳥 103

TEL : 044-986-6010 FAX : 044-330-1563 Email : mail@tsukimoto.info



安心して生活できる医療提供体制を目指す!

～子育て世帯・高齢世帯を始め、全世代が安心して暮らせるための在宅医療支援～

✓感染拡大防止と適切な医療提供体制確保

現在の「緊急事態宣言」の発動内容では、長引くコロナ禍による自粛疲れや経済的理由から要請に応じられないということから、人流の抑制による感染拡大防止は厳しくなっています。

海外では、現在の新型コロナウイルス感染症について、日本でいう第5類感染症相当に変更しているところもあります。ただ、感染拡大に備える警戒は続ける必要があり、感染者の医療費負担の課題もあります。

様々な意見のある中ですが、共通するのは、「感染拡大防止」「適切な医療提供体制の確保」です。感染拡大防止については、人流の抑制につながっていないものの、公共施設や店舗などの多くの外出先における感染症予防策が施されています。デルタ株の到来により、感染対策をしても感染拡大しているケースはあり、生活していて、「ゼロコロナ」の実現は難しいわけですが、ゼロコロナに近づける努力は進められています。

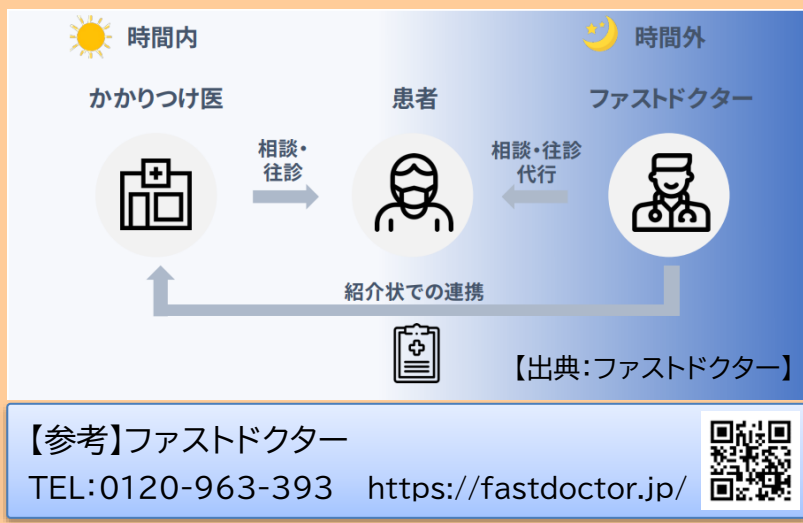
また、適切な医療提供体制の確保については、病床逼迫から在宅療養が増えています。同時に在宅療養への不安の声が寄せられています。東京都や大阪府では、在宅療養者の往診サービスをしているファストドクターとコロナに関する協定を締結し、在宅療養支援が進められています。

8月5日、私はファストドクターの代表医師である菊池亮氏と面会し、東京都で進められている在宅療養のサポートについてヒアリングし、川崎市での在宅療養対策について意見交換しました。

ファストドクターは 1,020 人を超える医師が、夜間に急病で動けなくなった方や通院が難しい方への医療相談・病院案内・トリアージ（治療優先度を判断）による救急往診も行う事業です。この事業は、電話対応は 24 時間、往診は月～土曜日は 18 時～翌 6 時、日曜日・祝日は 24 時間対応になっています。

同社の医療相談や救急往診のノウハウを活用し、東京都や大阪府は適切な医療を提供していくため、連携しています。

ファストドクターが進める医療連携体制



✓もしかしてコロナ? と不安の方への対応

ここ数ヶ月、発熱や倦怠感等の症状のため、コロナかもしれないという不安になられた方からご相談を受けることが増えています。しかしながら、医療機関が逼迫していることや、「病院に行くことで感染のリスクが高まる

のでは？」という不安で、「受診難民」になりかけている方のご相談をたくさん受けます。菊池代表と面会した後、ファストドクターが信頼できる体制であると確認できましたので、ご相談を頂いた方に同社を紹介したところ、看護師による電話対応、必要に応じて医師による往診が行われ、多くの利用者の方にご満足頂きました。

ファストドクターは、川崎市の現在のスキームでは対応できていないところを民間サービスによりフォローを可能にするものと考えます。

救急車が出動しても不搬送になるケースが出動数の2割近くが報告されており、感染拡大している8月のある週では、不搬送のうちの2割以上でコロナ陽性になっています。ファストドクターの医療相談や往診により、このように不搬送ではなく、適切な医療を速やかに受けられ、救急車を必要とする場所に出動させられることが期待できます。

✓コロナの危機から、安心の子育て環境整備と高齢者の在宅生活へ

在宅での医療相談や往診は、コロナ禍に限ったことではなく、日常の生活において、「受診控え」にならないことが期待されます。

まず、かかりつけ医のいない人が急病になった場合で、救急車を呼ぶかどうかを迷うケース、子どもが夜中に熱を出した、小さな子どもがいる家庭のお母さんが急病になった、離れたところに住んでいるお年寄りが急病になったなど、様々な急病のケースがあります。救急車を呼ぶことに抵抗がある方も少なからずいらっしゃいます。こんなケースは、日常生活の中でいつ起きるか分からず、子育て世帯、高齢世帯が安心して暮らせるためにも、ファストドクターが進めている緊急時の往診が可能な医療提供体制の確保を務めていくことは重要です。

✓かかりつけ医の負担軽減にもつながる在宅医療支援

現在の医療制度の中で、「かかりつけ医」は、24時間患者対応になっています。しかし、かかりつけ医がいるということは基礎疾患があるわけで、診療時間外の対応が続けば、多大な負担になります。

しかし、診療時間外は別の医師が往診し、かかりつけ医に報告していくスキームが活用できれば、現在のかかりつけ医のみなさまの負担の軽減につながりますので、ファストドクター事業はその可能性の一つと考えます。

✓免疫力を高める

日々の感染リスクを下げるために、自然免疫と獲得免疫を活性化させることが重要ですが、完全にメカニズムが解明されているわけではありませんが、メカニズムが完全に解明がなされていなくても、栄養、運動、睡眠、ストレス、肥満などの対策をしっかりと行うことが免疫力を高める感染防御につながるのではないかと考えられています。

コロナ禍で勤務形態が変わった職種の方もいらっしゃいますが、以前と変わらないという方も多くいらっしゃいます。また、家族が家にいる時間が増えた影響のある主婦の方々、お年寄り、子どもたちとすべての人たちの生活スタイルが一年半前と異なっています。

外出自粛により、在宅時間が増えることで、「コロナ太り」になってしまうというマイナスがありますが、コロナに打ち勝つためばかりでなく、これから先の人生のために健康増進は重要です。

「コロナを乗り越えて健康を考える」ため、川崎市では「おうちでできる簡単体操」を推奨していますので、ぜひ、やってみてください。

「川崎市おうちでできる健康づくり」
で検索してみてください！



月本たくやプロフィール

昭和 53 年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。

川崎市長政務秘書、衆議院議員公設秘書（麻生区・国会担当）等を経て、平成 23 年より川崎市議会議員。

現在 川崎市議会議員（麻生区選出、無所属、当選 3 回） 健康福祉委員会委員

神奈川県クッパ協会代表理事 NPO 法人防犯ネットワーク理事・麻生区支部長

神奈川大学川崎市宮陵会監事、三田学園同窓会東京支部幹事

川崎市麻生区男子ソフトボール連盟副会長 川崎白百合ライオンズクラブ 2017-2018 年度会長

五力田町内会地区長 麻生区白鳥在住 家族：妻（会社員） 趣味：KUBB（スウェーデン発祥のスポーツ）

月本たくや事務所

麻生区白鳥 2-3-2 K コーポ白鳥 103

TEL 044(986)6010 FAX 044(330)1563

月本たくや

検索

